

## 市長記者会見記録

日時：2014年1月6日（月）午後2時～午後2時13分

場所：本庁舎2階 講堂

議題：平成26年の年頭にあって

### <内容>

#### （平成26年の年頭にあって）

**司会：** ただいまより、定例の市長記者会見を始めさせていただきます。

本日は、平成26年の年頭にあってとなっております。

それでは、市長、幹事社さん、よろしく願いいたします。

**市長：** 改めまして、新年明けましておめでとうございます。今年も、どうぞよろしく願いいたします。

私からは特にはありませんけれども、1月1日付で待機児童と中学校給食のそれぞれ室が、担当というところからそれぞれの室をつくるということで、改めて、決意を新たに待機児童ゼロと、それから中学校給食の早期導入に向けての体制整備を今年初めから行ったということでもあります。昨年の末に報道発表というか、投げ込みさせていただいていると思いますので、新たなことではありませんが、改めて報告をさせていただきますと思います。

この2つの課題のみならず、色々なことを公約の実現に向けて、それぞれ緒につきたいというふうに思っておりますので、例えばプロジェクトチームをつくるとか、その体制整備に向けて今年行っていくことが多々ありますので、節目節目にまたご報告なり、させていただきたいというふうに考えております。

今年も1年、よろしく願いいたします。

#### （年末年始の過ごし方について）

**幹事社：** では、今月の幹事社です。どうも明けましておめでとうございます。

**市長：** おめでとうございます。

**幹事社：** じゃあ、難しい質問は後のほうにして、まず差し当たりやわらかいほうから。年末年始の過ごし方なんですけれども、どういう過ごし方をされたのか。あと、初詣に行かれたのか。行かれたとすれば、どちらに行かれたのかということをお聞かせください。

**市長：** 年末年始は、本当に久しぶりにゆっくりと自宅周辺で過ごすことが多かったですね。年末、仕事納めが終わっても、意外と納まってから、どうせ27日までは、あなた、時間どうにもならないだろうからといって、28、29、30ぐらいまで忘年会みたいのがそれぞれ幾つもあったりなんかして、結構ありましたけれども、三日はしっかり休んで、自宅で過ごしたり、実家に行ったりして、家族でゆっくり過ごしました。

初詣は、僕、毎年同じ場所なんですけれども、麻生区の琴平神社というところに初詣に参りました。今年は、去年もそうだったんですけれども、おみくじ引いたら大吉だったんで、幸先いいなと、ちょっとうれしかったです。(笑)

**幹事社：** じゃあ、どうぞ。

#### (全市Wi-Fi化計画について)

**幹事社：** 市長の公約のWi-Fiについてちょっと伺いたいんですが、若者の関心が高いので、市議会では年度内にプロジェクトチームを置くというような発言をされていまして、あとネット環境が都市の価値を決めるというようなことをおっしゃっていたんですが、プロジェクトチームはともかく、実現はいつごろを目指されているかということと、もしWi-Fiができるとしたら、これは担当課はどこがやるのか、または新設されるのかということと、先行する山梨県などでは観光客に無料にしているんですけれども、川崎は外から来る人に対してどうするかというお考えがあったら、ちょっとお聞かせ願えないでしょうか。

**市長：** まず、Wi-Fi化のプロジェクトについては、議会での答弁のとおり、今年度中にプロジェクトチームということで、そこで検討を行っていくということです。今も内々に色々な話もしていますが、課題となることも少し整理が必要ですし、相手のあることで、民間の事業者の人たちとの考え方のすり合わせというのにも必要になってきますので、それをプロジェクトチームの中でしっかりやっていくということですから、実現の時期等についてはもうちょっと時間が、このプロジェクトチームの中でしっかり議論して行って、発表していきたいというふうに思っております。で、山梨県の話もそうですけれども、基本的にどこでいようが、市内の人であろうが、市外の人であろうが、全員に無料Wi-Fiという、いわゆる完全な無料の無線LANということであります。

**幹事社：** 誰でもですか。

**市長：** はい。

**幹事社：** その担当課はどうするんですか。

**市長：** 担当課は、今のところは総務局になっておりますけれども、これ、どういうふうな、プロジェクトチームの検討の上ですけれども、新しい担当のところをつくるのか、どうするのかというのは、まだ今後の話ですね。今、総務局の情報システムのところでやってもらっていますが。

**砂田副市長：** そうですね、システム。

**幹事社：** わかりました。

じゃあ、各社、お願いします。

**記者：** すみません、その関連なんですけれども、スマートシティ戦略室で、たしか川崎駅前とかでも情報提供をやっていますけれども、そういうようなものとも絡めていくというようなお考えとかはいかがでしょうか。

**市長：** それも出てくるかもしれません。当然、そうなってくるんだと思います。何かすり合わせみたいなのは必要になってくると思います。

**記者：** とりあえずプラットフォームをまずつくっていかうということ。

**市長：** そうですね。はい。

**記者：** わかりました。

#### **(年末年始の過ごし方について)**

**記者：** すみません。先ほど初詣に行ったというふうにお話ししていましたが、そこでどんなことを市長として願ったんでしょうか。

**市長：** 自分の誓いみたいなものを立ててきたということですから、一生懸命働きますということを神様に誓ってきたという、そういう感じですね。

**記者：** 具体的な目標というか、そういったことは何かあるんですか。

**市長：** 目標はもう、何ていうか、いっぱい約束したことがありますので、着実にということで、毎度のことを言って申しわけないですが、とにかく市民のために一生懸命働くということを誓ってきたということです。

#### **(総合計画等の市民参加について)**

**記者：** すみません。先ほど職員への挨拶で、新総合計画の策定に入るという話、それと、その前に幸福学から引っ張って、市民が川崎に愛着の持てる、かかわり合いのできる仕組みづくりをというお話ししたんですけれども、その2つがミックスされて、総合計画づくりでも従来のパブコメレベルを超えた市民参画の仕組みを整えるお考え

があるのかどうか。

**市長：** そうですね、総合計画の中に、これからの話ですけれども、ぜひ市民の皆さんにも積極的に入っていただくということを、今、おっしゃったパブコメレベルではないものを考えたいというふうに思っております。

**記者：** すみません。総合計画以外でも、色々な市町村で市民参加というのが出てきますけれども、新たなかわりを持てるような仕組みづくりということで、具体的にコミュニティーレベルで何かお考えになっているプランとか、アイデアみたいなものはあるんですか。

**市長：** 今日、申しあげましたのは、今、区民会議とか、色々な形ありますけれども、それぞれの区の事業だとか、あるいは区の取組だけでなく、市のイベントもそうですけれども、市のイベントをやって90周年ですよということだけではなく、いかに市民の皆さんと一緒に作り出していくか。そのことが一つ一つの事業に必要なというふうに思っていますので、何か新しいことをやってというよりも、そのマインドで行ってくださいという思いを、今日、お伝えしたかったということです。

#### **(待機児童対策について)**

**幹事社：** 待機児童の件なんですけれども、市長、以前から言われるように、2015年4月のゼロを目指すというお話なんですけど、色々対策室等も立ち上げられて動いてきて、もともと公約の段階ではもやっとしたものが、だんだん一つの形になってきているんじゃないかというふうに思うんですけれども、2014年の、今年4月の段階での数値目標というのはございますか。

**市長：** これも繰り返し、どこかで僕、結構色々なところで言っていると思うんですが、限りなくゼロを目指してというふうなことを言っております。そういう意味では、数値目標になるのかどうかというのはあれですけれども、とにかく2014年の4月の段階で限りなくゼロに近づけようと、そして15年の4月には確実にゼロということが目標です。

**記者：** じゃあ、確認ですけれども、毎年、大体200人ずつ、ここ数年減ってきて、昨年が430ぐらいですから、単純に進めていけば200かなと思うんですけれども、それを単純に、今までのペースを超えて、もっとゼロに近い数値というのが目標であるという印象でよろしいですか。

**市長：** そういうことですね。

**記者：** そうなってくると、例年ですと、あと1か月ぐらいで一般会計予算の発表な

んですけれども、どのくらいまで福田カラーといいますか、一番お金のかかる給食や待機児童にお金を入れ込めるかということになってくるんですけれども、今のところの見通しはどうですか。

**市長：** うーん、今、給食にどーんという話ではないと思いますが、待機児童のところでは一定程度やはりお金が必要になってくる部分もあるので、これはもう繰り返し申し上げていますが、認可外にお預けになっているところの負担軽減はやっていかなくてはいけないという意味でも、これはまだ額は決まっておられませんけれども、そういった意味ではそれなりにお金がかかってくる。ただ、これも繰り返しですけれども、26年度予算というのはある程度進んできている中でありますから、私がゼロから編成した予算ではありません。そういう意味では、福田カラーというのはかなり限定的というふうには思います。

**記者：** ただ、たしか認可外は各家庭5,000円補助とありますけれども、要するに各家庭への直接補助が増えるような方向性になるということによろしいですか。

**市長：** そうですね。そういうふうな方向性では考えております。

**記者：** それは、多分、保護者からの期待はかなり大きいでしょうね。

**市長：** うん、そうですね。と思います。そういう声も聞いております。

**記者：** はい、わかりました。

**幹事社：** そこにおける予算というのは幾らぐらいになるんですか。

**市長：** いや、まだ、まさに精査中であります。

なしって感じですね。(笑) じゃあ、よろしいですか。

**司会：** よろしいですか。

**市長：** はい。

**幹事社：** はい。

**司会：** それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

**市長：** ありがとうございました。何かすごいあっさりと。(笑) これはこれで何となく、ちょっと、何か嵐の前みたいな感じで怖いですね。

では、今年もよろしく願いいたします。

(以上)

---

この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理したう

えで掲載しています。

(お問い合わせ) 川崎市役所総務局市民情報室報道担当

電話番号：044(200)2355